

離床センサーシステム

# EPS

Eye&Person&System

## ご導入施設

## インタビュー

Vol.5



所在地 〒816-0971  
福岡県大野城市牛頸1034-5  
TEL 092-595-0595(代表)

# 医療法人 芙蓉会

## 筑紫南ヶ丘病院 様へ

### インタビューしました

#### ご施設紹介

医療法人芙蓉会筑紫南ヶ丘病院様は、昭和62年に地域密着した医療機関を目指し250床の一般病棟としてスタートされ、高齢化社会の進展と地域のニーズの高まりを受け平成12年に療養型病院に転換されました。平成24年には病院からの受け皿となる重度要介護者専用施設であるメディカルケア二日市温泉を開設すると同時にモニタリングシステムも導入されました。平成26年4月には医療法人芙蓉会として地域の基幹病院としての役割の他、在宅療養後方支援病院として新たに医療療養病棟190床、地域包括ケア病棟60床に病床転換されました。

医療法人芙蓉会様は、筑紫南ヶ丘病院の他に訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、介護付き有料老人ホームを有しており、近隣地域の医療機関や介護施設と連携し、医療、介護、在宅療養生活における一連の支援を行っています。

看護部門では、患者様の意見を尊重し、安全で心温かな信頼される看護介護を提供するためにプロとしての自覚そして接遇が何よりも重要と考え、人材育成、スタッフが育ち定着する、治せる慢性期病院として地域に選ばれる病院を目指されています。

医療安全管理部門では、患者様が常に安心して医療を受けられるよう、日常の様々な問題点を明確にし、対策を取ることで再発防止、未然防止に努められています。

この度、株式会社イムズ製の離床センサーEPSシステムを各病棟へ導入するにあたって、結城看護主任様へインタビュー致しました。

the Voice  
スタッフの声



結城看護主任

当病院の性格上、各病棟において様々な支援介護を行う必要があります。

また転倒・転落の要因も様々であり、医療安全上の大きな課題の一つでもあります。

KYTを導入し分析、改善策を立て、医療の質向上に日々努めています。離床監視については、定期的な見守りや複数のセンサーを組み合わせる等の対応を行ってきましたが、どのセンサーも誤報や失報があり、患者様にとって安全で、かつ看護部門にとって効率のよい運用はできておりませんでした。

今回、従来のセンサーと異なる原理の株式会社イムズ製のEPS離床センサーシステムを導入することにより、患者様の離床が早期に分かる事になりました。また設置も簡単で誤動作も殆ど無く、安全と効率化の両立が図られるようになりました。



## ● 病棟での設置状況

使用機種: 離床センサーEPSシステム

使用病棟: 各病棟



ベッド枠への設置



蛍光灯カバーにコントロールBOXを  
マグネットで設置

今後、他病棟にも  
本システムを導入すべく  
準備を進めております。



製品のお問合せ先



株式会社 イムズ  
鹿児島県鹿児島市武岡1-17-1  
福岡県福岡市早良区4-13-7-202  
<http://www.imsys.co.jp>

TEL 099-296-8817

FAX 099-283-5801

E-Mail [eps-info@imsys.co.jp](mailto:eps-info@imsys.co.jp)